

ひまわり組通信No.6 『ひまわりくん』

令和2年9月7日

ひまわり組 最近の遊びの様子

最近ひまわり組では、積み木を『どれだけ高く積めるか』が流行っていて、朝登園して荷物を片付けるとすぐに子ども達から「積み木しよう」と友達同士で誘い合う様子が見られ、コーナー遊びの際にも「積み木したい」と言っています。今までの子ども達の遊びでは、ブロックやラキューを使って個人個人が作品を作り、友達と見せ合ったり、それを使ってのごっこ遊びなどをする事が多かったです。最近楽しんでいる積み木では、みんなで協力してどうしたら大きく高くなるかという事やどんな形にしたら強いかを考えたり工夫して、友達と「こうした方がいい」「違う。そうじゃなくて…」とやり取りをしながら同じ目的・目標を持って遊んでいる様子が見られるようになってきました。子ども達の協働性というものが育ってきているのだと感じられます。



この積み方なら高くできるかな？

積み木の中に入ってみたい！



僕が積み木、積んであげるね



積み木の横でちょっと休憩



下の方は中に積み木が入ってしまった時に取り出せるように少し抜けているそうです。

コツコツと友達と一緒に積み木を積む事、約一時間！写真では少しわかりにくいですが、もうすぐ天井に着くくらいの高さの塔が出来上がりました。子ども達には『天井にくっつける』という目標があり、「もうちょっとや」「先生抱っこして！そしたらまだ積める！」と保育教諭に抱っこされ積んでいたのですが重心が偏ってしまい大きな音を立てながらザアーッと崩壊…。壊れてしまっても子ども達は「惜しかった」「でっかい音なったね」と壊れる事も楽しんでいました。目標の天井に到達したらみんなで記念撮影したいと思います。